



肉厚で形のいいキクラゲはプリプリしている。



阿蘇の土の鉄と、農業とを

しつかり繋ぐ。

阿蘇デザインファーム 山本剛宏

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

阿蘇デザインファーム 山本剛宏

鉄分豊富なキクラゲはすぐに高い評価を受け、浸透した。スタッフの数人が平成二十三年の東日本大震災で被災し、阿蘇の地に避難してきている人たちだ。だから熊本の震災に際して「会社を挙げて動こう」となった。仕事は中断。宮崎に届いた支援物資を受け取り、避難所ではなく各戸にそれぞれ配った。もちろん結束は強まつた。「阿蘇の力は水と土と人の力です」。それを土台とした農業を推進していく。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

阿蘇 Zen
A s o C i t y

阿蘇の火山がはるかな時を超えて抱えつづけてきたものがある。褐鉄鉱リモナイトという堆積物だ。豊富な鉄分を含むこの土壤を活用し、平成十七年に農業生産法人が立ち上がった。デザインファームの命名にこめられた想いは、「土としての阿蘇をデザインしたい」である。代表者の山本剛宏さんは、大学では時代の先端をいく電子情報工学を専攻し、卒業後も精密検査機器メーカーの技術者として勤務していた。「が、どうも都会は向いていないことがわかった。自然がないと息が詰まるのですね」。そして故郷の阿蘇の土に取り組んでいく人生が始まった。鉄分豊富な米を生産しようと試みたが、「技術的に成功していません」。そして着目したのが、中華料理や豚骨ラーメンの具としても馴染のあるキクラゲだ。土壤の大きな強みを生かした

鉄分豊富なキクラゲはすぐに高い評価を受け、浸透した。スタッフの数人が平成二十三年の東日本大震災で被災し、阿蘇の地に避難してきている人たちだ。だから熊本の震災に際して「会社を挙げて動こう」となった。仕事は中断。宮崎に届いた支援物資を受け取り、避難所ではなく各戸にそれぞれ配った。もちろん結束は強まつた。「阿蘇の力は水と土と人の力です」。それを土台とした農業を推進していく。